

# I 穀物

## 1 2009/10年度の国際的な穀物需給の概要

### ○2009/10年度の穀物需給（予測）のポイント

2009/10年度の穀物需給は、小麦、とうもろこし、大麦、ソルガム、米の全てで、生産量は前年を下回ると見込まれる。

一方、消費量は、ソルガムを除く全ての穀物で前年よりも増加すると見込まれ、とうもろこし、ソルガム、米では消費量が生産量を上回るものの、穀物全体としては、3年連続で消費量を上回る生産量が確保されると見込まれる。

このため、穀物全体の期末在庫量は積み増しが行われ、期末在庫率は上昇すると見込まれる。

#### 【生産量】

世界の穀物全体の生産量は、全ての穀物で減少すると見込まれ、前年度より33.9百万トン減少（▲1.5%）し、2,196.9百万トンとなる見込みである。

品目別には、世界的に増産となった前年度と比較して、小麦については、市場価格の低下や経済の減退による面積の減少、大麦、とうもろこしについては単収の低下、米については、インドの降水不足等による減産が見込まれている。

#### 【消費量】

世界の穀物全体の消費量は、堅調な食用、エタノール原料用の需要の増加などから、前年度より37.2百万トン増加（1.7%）し、2,184.2百万トンとなる見込みである。

品目別には、とうもろこしについては、米国でエタノール需要を中心とした増加、中国等で飼料用需要を中心とした増加が見込まれ、小麦については、食用需要を中心としてインド、ロシア等で増加が見込まれる。

#### 【貿易量】

世界の穀物全体の貿易量は、前年度より15.4百万トン減少（▲5.5%）し、264.8百万トンとなる見込みである。

品目別には、とうもろこしについては、米国やブラジルの輸出量の増加が見込まれるものの、小麦については、生産量の減少に伴い、EU、ウクライナ、米国等で輸出量が減少すると見込まれている。

#### 【期末在庫量】

世界の穀物全体の期末在庫量は、生産量が消費量を上回ると見込まれていることから前年度より12.7百万トン増加（2.9%）し、456.9百万トンとなる見込みである。また、穀物全体の期末在庫率は、期末在庫量が積み増しされることから、20.9%と0.2ポイント上昇する見込みである。

品目別には、小麦、大麦、ソルガムについては生産量が消費量を上回り、期末在庫量が積み増しされるが、とうもろこし、米については生産量が消費量を下回り、期末在庫量が取り崩されると見込まれている。

表－1 世界の穀物需給

(単位:百万トン)

年 度	2007/08	2008/09 (見込み)	2009/10			
			予 測 値	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)	
生 産 量	穀物計	2121.1	2230.8	2196.9	1.3	▲ 1.5
	小麦	610.4	682.0	673.9	2.0	▲ 1.2
	粗粒穀物 (とうもろこし)	1,077.3	1,102.8	1,089.2	▲ 2.4	▲ 1.2
	(大 麦)	791.9	791.6	790.2	0.4	▲ 0.2
	(ソルガム)	132.8	154.4	148.8	1.0	▲ 3.6
	米	65.6	64.2	64.0	0.1	▲ 0.3
消 費 量	穀物計	2102.3	2147.0	2184.2	▲ 4.8	1.7
	小麦	617.0	639.3	646.7	▲ 1.6	1.2
	粗粒穀物 (とうもろこし)	1,057.2	1,073.0	1,101.6	▲ 2.2	2.7
	(大 麦)	771.4	775.5	803.3	0.0	3.6
	(ソルガム)	134.6	143.4	147.2	1.1	2.6
	米	65.4	64.2	64.0	▲ 0.3	▲ 0.4
う ち、 飼 料 用	穀物計	752.8	758.2	767.8	0.8	1.3
	小麦	96.3	112.7	111.2	▲ 0.8	▲ 1.4
	粗粒穀物 (とうもろこし)	656.5	645.5	656.7	1.6	1.7
	(大 麦)	496.6	480.5	489.4	0.9	1.9
	(ソルガム)	92.3	99.5	102.2	0.8	2.7
	米	29.4	25.8	24.8	▲ 0.1	▲ 4.2
貿 易 量	穀物計	275.5	280.2	264.8	0.1	▲ 5.5
	小麦	117.2	142.3	124.7	▲ 0.6	▲ 12.4
	粗粒穀物 (とうもろこし)	127.2	109.6	109.7	▲ 0.1	0.0
	(大 麦)	98.6	80.8	84.0	▲ 0.1	3.9
	(ソルガム)	15.5	20.2	17.2	0.0	▲ 14.5
	米	9.8	6.0	6.0	0.0	▲ 1.2
期 末 在 庫 量	穀物計	360.4	444.2	456.9	5.4	2.9
	小麦	121.0	163.8	190.9	2.6	16.6
	粗粒穀物 (とうもろこし)	159.1	188.9	176.5	▲ 0.8	▲ 6.5
	(大 麦)	129.3	145.4	132.3	▲ 0.1	▲ 9.0
	(ソルガム)	19.2	30.2	31.9	▲ 0.2	5.6
	米	4.6	4.5	4.6	0.3	0.9
期 末 在 庫 率	穀物計	17.1%	20.7%	20.9%	0.3	0.2
	小麦	19.6%	25.6%	29.5%	0.5	3.9
	粗粒穀物 (とうもろこし)	15.0%	17.6%	16.0%	▲ 0.0	▲ 1.6
	(大 麦)	16.8%	18.8%	16.5%	▲ 0.0	▲ 2.3
	(ソルガム)	14.3%	21.0%	21.6%	▲ 0.3	0.6
	米	7.0%	7.0%	7.1%	0.5	0.1
		18.8%	21.1%	20.5%	0.9	▲ 0.5

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、  
「Grain: World Markets and Trade」、 「PS &D」

注：期末在庫率の「前月予測からの変更」と「対前年度増減率」は、前月予測及び前年度とのポイント差である。

【参考】2009/10年度穀物需給予測の主な改訂（主要品目の前月予測と今月予測の差）

前月の予測からの改訂は、生産量は全ての穀物で上方修正され、穀物全体では1.3百万トン上方修正されている。消費量は大麦で上方修正されたものの、小麦、ソルガム、米で下方修正され、穀物全体では4.8百万トン下方修正された。また、期末在庫量はとうもろこし、大麦が下方修正されたものの、小麦、ソルガム、米が上方修正され、穀物全体では2.9百万トン下方修正された。

○ 小麦

(単位:百万トン)

	生産量	消費量	うち、 飼料用	貿易量		期 末 在庫量
				輸出量	輸入量	
世界計	2.0	▲ 1.6	▲ 0.8	▲ 0.6	…	2.6
米国	-	▲ 0.4	-	-	-	0.4
カナダ	2.5	0.2	0.2	0.5	-	1.8
豪州	▲ 1.0	-	-	▲ 0.5	-	▲ 1.3
EU-27	0.3	▲ 1.0	▲ 1.0	-	-	1.3
中国	-	-	-	▲ 0.5	-	0.5
インド	-	▲ 0.8	-	▲ 0.2	0.1	1.0
ロシア	-	-	-	-	-	-
アルゼンチン	-	-	-	-	-	-
ウクライナ	-	-	-	-	-	-

○ とうもろこし

(単位:百万トン)

	生産量	消費量	うち、 飼料用	貿易量		期 末 在庫量
				輸出量	輸入量	
世界計	0.4	0.0	0.9	▲ 0.1	…	▲ 0.1
米国	-	-	-	▲ 1.3	-	1.3
中国	-	-	-	-	-	-
アルゼンチン	-	-	-	-	-	-
ブラジル	-	-	-	-	-	-
EU-27	-	-	-	-	-	-

○ 大麦

(単位:百万トン)

	生産量	消費量	うち、 飼料用	貿易量		期 末 在庫量
				輸出量	輸入量	
世界計	1.0	1.1	0.8	0.0	…	▲ 0.2
オーストラリア	0.5	0.3	0.2	0.3	-	0.3
カナダ	0.3	0.3	0.3	-	-	0.0
米国	-	-	-	-	-	-
EU-27	0.0	-	-	▲ 0.3	-	0.3
ウクライナ	-	-	-	-	-	-
ロシア	-	-	-	-	-	▲ 0.1

○ ソルガム

(単位:百万トン)

	生産量	消費量	うち、 飼料用	貿易量		期 末 在庫量
				輸出量	輸入量	
世界計	0.1	▲ 0.3	▲ 0.1	0.0	…	0.3
米国	-	-	-	-	-	-
アルゼンチン	-	-	-	-	-	-
豪州	-	-	-	-	-	-
中国	-	▲ 0.2	-	-	-	0.2
インド	-	-	-	-	-	-

○ 米

(単位:百万トン)

	生産量	消費量	うち、 飼料用	貿易量		期 末 在庫量
				輸出量	輸入量	
世界計	1.8	▲ 0.9	…	0.8	…	3.5
中国	1.0	0.8	…	0.2	-	-
インド	-	▲ 2.3	…	0.5	▲ 0.2	1.6
インドネシア	-	-	…	-	-	-
タイ	0.5	-	…	-	0.3	1.7
ベトナム	0.5	-	…	-	-	0.5
フィリピン	▲ 0.1	-	…	-	-	▲ 0.1

資料：USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、 「Grain: World Markets and Trade」、 「PS&D」

注：期末在庫量の変更については、2008/09年度の需給データの改訂により、2009/10年度の期首在庫量が修正されたことに伴う場合もある。